

検索・予約のスキルアップ！ ご存知ですか？ 図書館の「OPAC」

図書館のOPAC（オパック）という言葉、皆さんはご存知ですか？

本の検索・予約にとっても便利なサービスなのですが、「よく知らない」という方も多いのでは？ 今回は「OPAC」が一体何をしてくれるサービスなのか徹底解説するとともに、既に利用している方もタメになる、使い方のコツを伝授します。思ったよりも簡単にできますので、この機会にチャレンジしてみましょう！

はじめてOPACを使うあなたへ。

Step 1. OPACとは？

OPAC(Online Public Access Catalogue)とは、**図書館で所蔵している本の情報と所在情報を、コンピュータで検索できるようにしたものです。**足立区の図書館では、館内OPAC（図書館内の検索機）と館外OPAC（パソコン・携帯電話から利用できる、足立区立図書館ホームページ内の蔵書・検索機能）の2種類が利用できます。

Step 2. 「OPAC」を使うメリット

OPACを使うメリットは、何と言っても「**探す手間が省ける**」ことです。本の名前を検索すれば、どの図書館の、どの場所に本があるのか分かります。カウンターで専用のパスワードを発行すると、貸出中の本や普段利用している図書館にない本を読みみたい場合も、OPACから直接予約をすることができます。「**カウンターでの手続きが不要になる**」ほか、足立区立図書館のホームページでは「**図書館以外の場所にも予約ができる**」ため、更に便利です。

スマートフォンでも
予約できるんだって！
これはもう
使うしかにゃい！



■パスワードを発行するとこんなに便利

- ・自分の貸出状況、予約状況が確認できる
- ・カウンターの手続きなしで本が予約できる
- ・自宅、外出先からでも24時間予約できる（パソコン・携帯電話のみ可能）
- ・本が届いた際の連絡をメールで受取可能（メールアドレスの登録が必要です。）

Step 3. パスワードを登録してみましょう！

3段階でかんたん登録！ その後は、いつでも、どこでも自分で利用状況の確認や検索、予約ができます。

① 図書館のカウンターでパスワードを発行
※貸出カードをお持ちください。

② 「利用者メニュー」から、貸出カードの番号とパスワードを入力してログインする。

③ 「パスワード変更」から、好きなパスワードに変更する。

登録完了！

登録できたら、早速OPACを利用してみましょう。
次のページから、使い方のコツをご紹介します！

すでにOPACを使っているあなたへ。

みなさまの図書館ライフをもっと快適に！ 知っている便利な豆知識を、よくある質問を中心に紹介します。

～本の検索編～

Q. 探している本のタイトルを検索しても見つからないんだけど・・・

A. 「単語」での検索がおすすめです。例) 日本の歴史について調べたい場合 → 「日本 歴史」
入力した内容に1文字でも違いがあると、本の情報は検索されません。読みたい本の単語を複数入力し、単語の間に空白を入れると、入力した単語が含まれる本が検索できます。

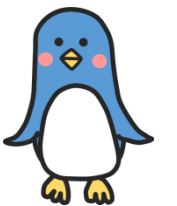
Q. シリーズの小説で、今読んでいる本の次の巻が読みたい！ / ○○さんが書いた最新作が読みたい！

A. 「出版年順」「出版年逆順」での検索がおすすめです。

検索画面で本の名前を入力したとき、「表示順」を変更してから検索すると、様々な順番で本の検索結果を表示できます。「出版年順」にした場合は最初に出版された本が一番上となり、1巻から順番に本を読みみたい方に便利です。「出版年逆順」とした場合はその逆で、1番新しい本が1番上となるため、新しい本を調べたい方に適しています。



その他にも、知りたいことがある時はいつでも図書館の人に聞いてみてね。



～本の貸出・予約編～

Q. 上・下巻のシリーズで、上巻が先に届くように予約したい！

A. 「順番予約」を設定することで可能です。

OPACでは、借りたい本を予約カートへ入れた後に「順番予約へ」に進み、「受取順」を選択します。上巻の受取順を1位に設定することで、上巻が先に届くように予約することができます。

Q. 今借りている本が読み終わらない！ 返却期限の延長ってできますか？

A. その本が返却日を過ぎておらず、次に待っている方がいない場合のみ可能です。

OPACでパスワード登録済みの方は、ログインした後、貸出状況一覧から1度だけ1週間の延長が可能です。カウンターに本をお持ちいただいた場合は、1度返却し、再度2週間の貸出ができます。

～請求記号編～

実際に図書館で本を探すときに参考になるのが、数字や文字などで表示されている「請求記号」。

本は、「日本十進分類法」に基づいて並んでいます。今回は、みなさんの参考になる請求記号をピックアップしました。OPAC利用後、図書館で本を探す時にお役立てください。

「B」 = 「文庫」

「E」 = 「絵本」

「913.6」 = 「日本の小説」

「K」 = 「紙芝居」

請求記号

B913.6/けきた/

※やよい図書館では、日本の小説は著者の頭文字3字を本に表示しています。

例えば、OPACの表示が「B/913.6/さえき」なら、「文庫」サイズの「日本の小説」で、著者の頭文字が「さえき」の本であることが分かるようになっています。